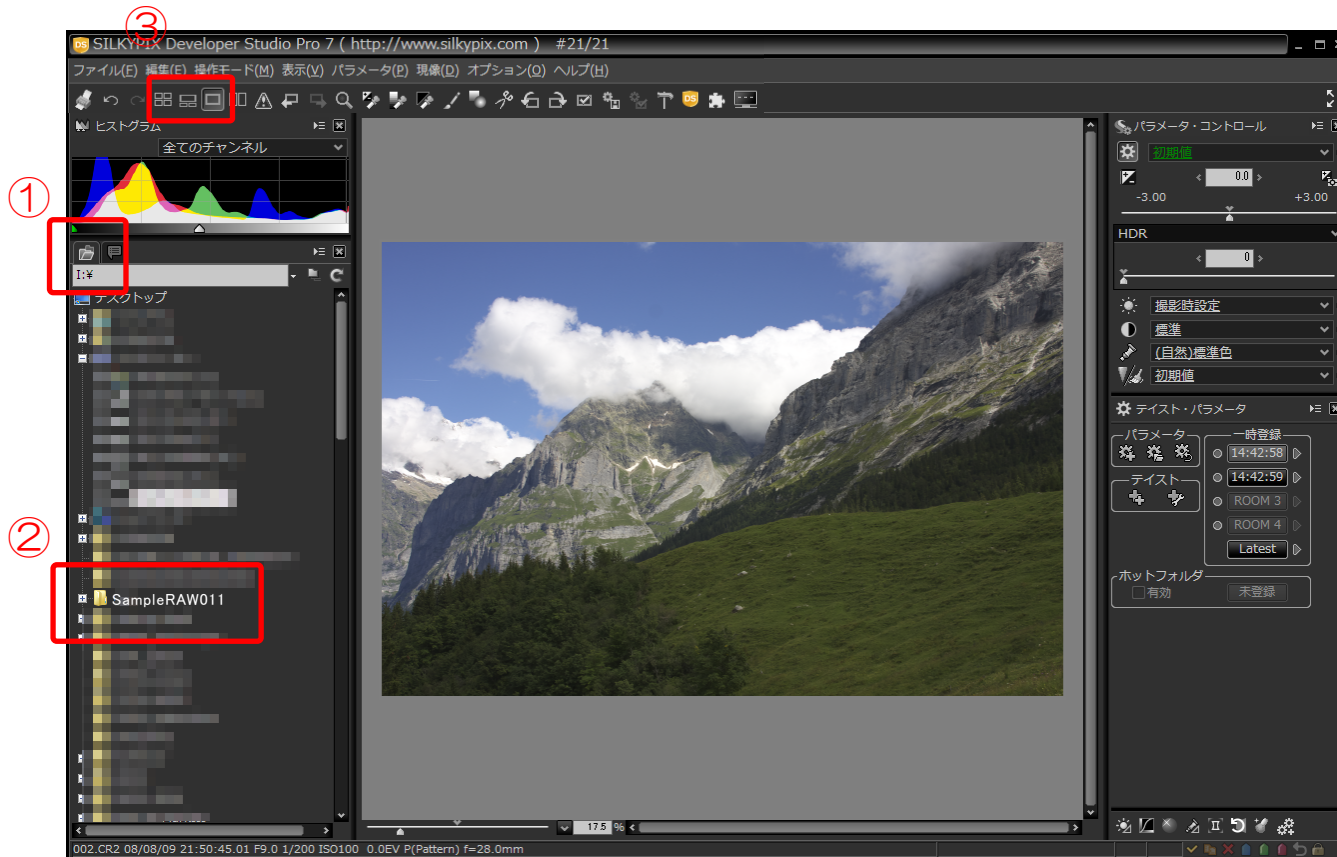


# RAW 現像基本調整

サンプル RAW データをダウンロードして実際に体験できます。

## 1. RAW データを開く

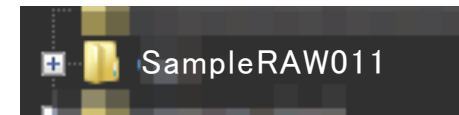


### ●フォルダーを開く

SILKYPiX はフォルダー単位で RAW データを開くことができます。



①フォルダーツリーアイコンをクリックしフォルダー一覧を表示します。



②フォルダーツリーからダウンロードした RAW データのあったフォルダーを選択すると開きます。

### ③表示モードを切り替える

#### サムネイル表示



フォルダーの中のデータを縮小版で一覧表示します。

#### コンビネーション表示



縮小表示と拡大表示を同時に表示します。

#### プレビュー表示

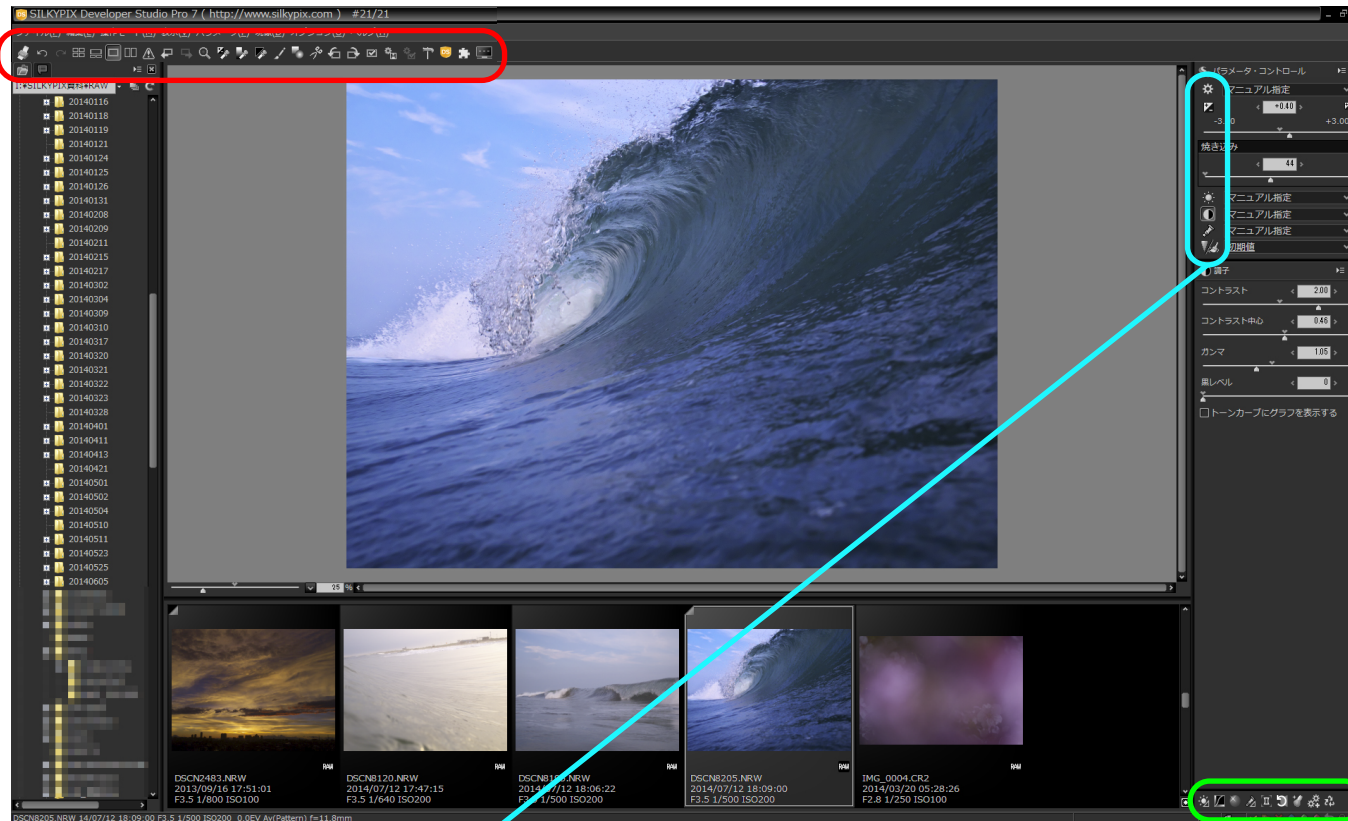


サムネイル表示で選択されたコマを大きく表示します。

# RAW 現像基本調整

サンプル RAW データをダウンロードして実際に体験できます。

## 2. 画面構成



### ツールバーでよく使う機能

- 印刷
- 画面表示切替
- ハイライト、シャドー警告など
- ゴミ取り
- 部分補正
- トリミング
- 90 度回転
- JPEG または TIFF に変換

### メインコントロール

- 露出  
明るさの調整
- ホワイトバランス  
全体的な色合いの調整
- 調子  
コントラストの調整
- カラー  
鮮やかさの調整
- シャープ／NR  
シャープネスと  
ノイズリダクション

### サブコントロール

- WB 微調整  
色合いの微調整
- トーンカーブ  
コントラストの調整
- ハイライトコントローラ  
白とびした部分の調整
- ファインカラーコントローラ  
特定の色ごとの調整
- レンズ収差補正  
歪みや周辺減光の補正
- 回転／デジタルシフト  
傾きや遠近感の補正
- 効果  
美肌補正とノイズ付加
- 現像設定  
AdobeRGB や sRGB の設定
- 編集履歴  
任意の作業まで戻る。

# RAW 現像基本調整

サンプル RAW データをダウンロードして実際に体験できます。

## 3. メインコントロール

①

②



### ①カテゴリ選択アイコン

アイコンを選択すると③のタブページが切り替わります。

### ②テスト

あらかじめ登録されている設定をメニューから選んで調整を行います。おおまかな調整をここでやり③のスライダーで微調整できます。



### ③タブページ

①で選択したカテゴリの詳細な調整を行います。主に「スライダー」と呼ばれるコントロールでつまみを左右に動かして調整を行います。

### ●スライダーの初期値マーク



データを開いた時の値を示すマークとなります。最初の状態がわからなくなった時の目印になります。



# RAW 現像基本調整

サンプル RAW データをダウンロードして実際に体験できます。

## 4. 調整前

データを開いたままの状態です。まずここで調整の目標を決めます。

① ②

### ①構図を決める

写真の周りに写り込んでしまった  
葉っぱや木などを切り取る。

### ②しっとりした雰囲気にしたい

少し黄色かぶりしているので  
ホワイトバランスを調整し  
葉っぱの緑を鮮やかにする。

### ③手前のつつじと流木を引き立たせる

コントラストが低いので  
全体的に平面な印象を受ける。



③



## RAW撮影のメリット

RAWデータで撮影しておく、その場で納得がいく設定ができなくても、後でじっくり調整ができます。

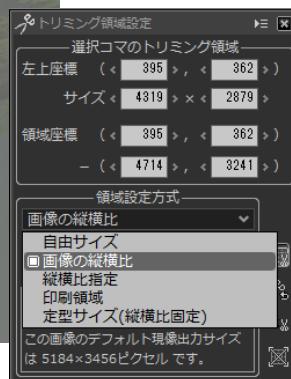
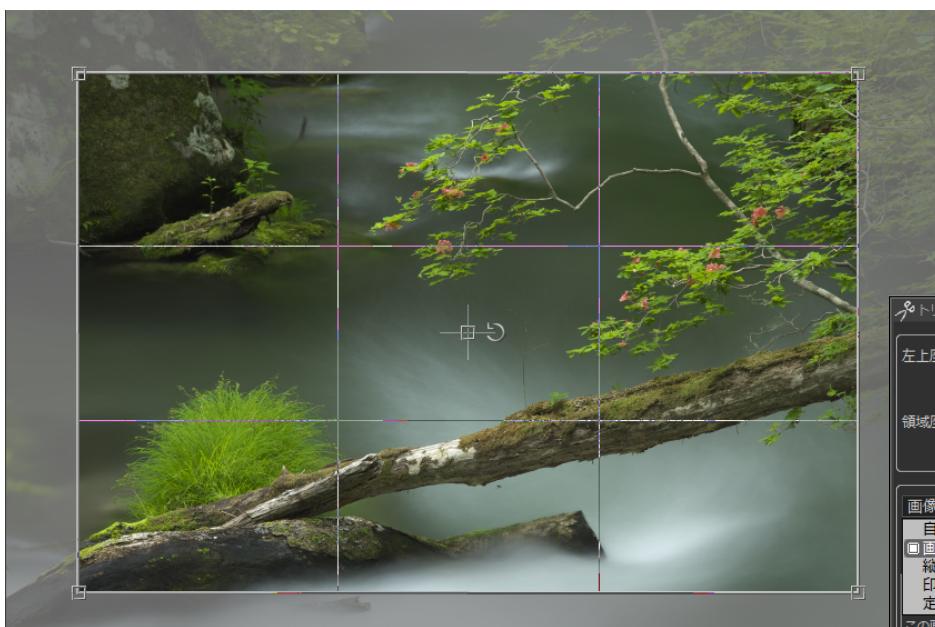
せっかく行った絶景の写真も失敗が減ります！


JPEG 写真を後で調整しようとする、圧縮され一度仕上がったデータを調整するので画質が劣化してしまいます。

# RAW 現像基本調整

## 5. トリミング

左端に葉っぱが写り込んでしまったので  
バランスを見て周りをトリミングする。



トリミング領域が決まりましたらまた  を押すと  
トリミング領域決定となります。



### トリミング領域設定

トリミング領域の設定をおこなう場合、最初に「領域設定方式」によってトリミング領域を設定する方式を決定してください。  
トリミング領域は、自由な矩形で設定することも可能ですが、縦横比を固定することによって、  
出力する目的に応じたトリミングをおこなうことができます。

## RAW 現像基本調整

### 6. ホワイトバランスを決める

新緑の緑を引き立たせるため、色温度を低く設定する。



色温度：4050K

少し青味を出すことで全体的にしっとりさせることができる。

サンプル RAW データをダウンロードして実際に体験できます。



### 撮影時のホワイトバランスの設定

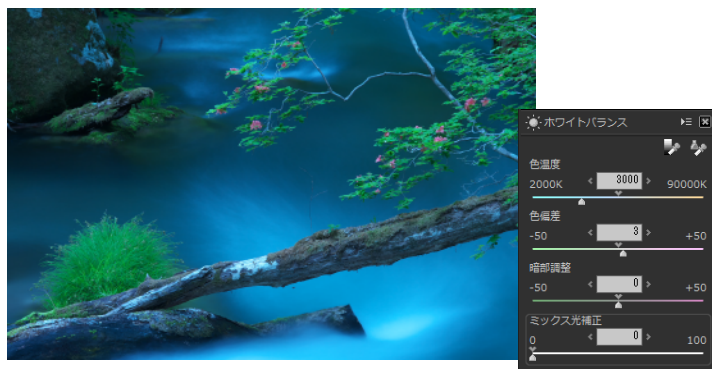
カメラのオートホワイトバランスを活用する方も多いと思いますが、オートホワイトバランスはいつも完璧と言うわけではありません。万一カメラのオートホワイトバランスがズれていても RAW 撮影なら安心です。RAW 現像ソフトでホワイトバランスを変更しても画像の劣化は全くないからです。撮影現場でマニュアルホワイトバランスを決めきれない場合には、迷わず、RAW 撮影でオートホワイトバランスにして撮影に集中しましょう。

SILKYPIX Developer Studio Pro7 を使用した

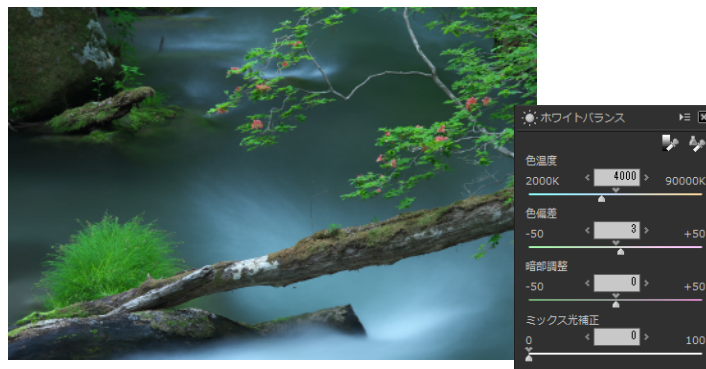
サンプル RAW データをダウンロードして実際に体験できます。

# RAW 現像基本調整

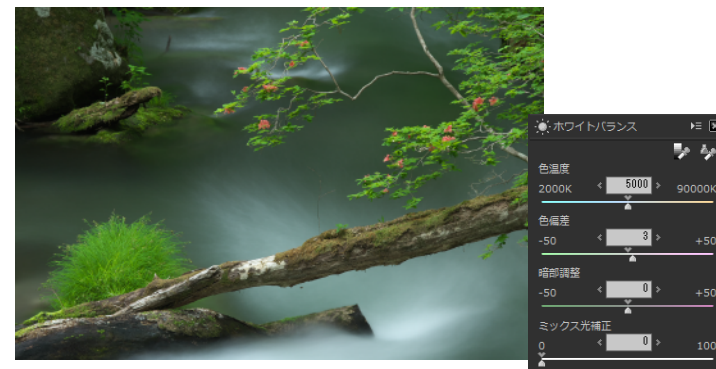
## ホワイトバランスを変えた仕上がりイメージ



色温度：3000K



色温度：4000K



色温度：5000K



色温度：6000K



色温度：7000K

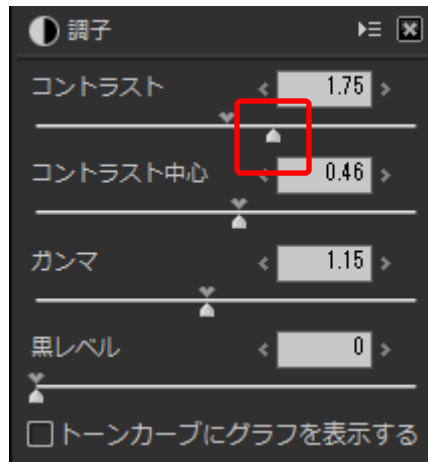
ホワイトバランスの色温度によって写真から受ける印象が変わったかと思います。  
さらに新緑の発色も変わるので、新緑の色を正確に出すか、それとも大きく色温度を変えた作品にするか。  
ホワイトバランスは写真の仕上がりに大きく影響する部分でもあり、面白い部分でもあります。

# RAW 現像基本調整

## 7. コントラストの調整

手前のつつじや流木を引き立たせるために  
コントラストを上げる。

**コントラスト : 1.75**



ここではあまり違いが分かりづらいですが  
モニター上だとこの最後の一味が効いてくるのが  
お分かりいただけるかと思います。



### コントラスト

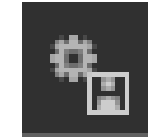
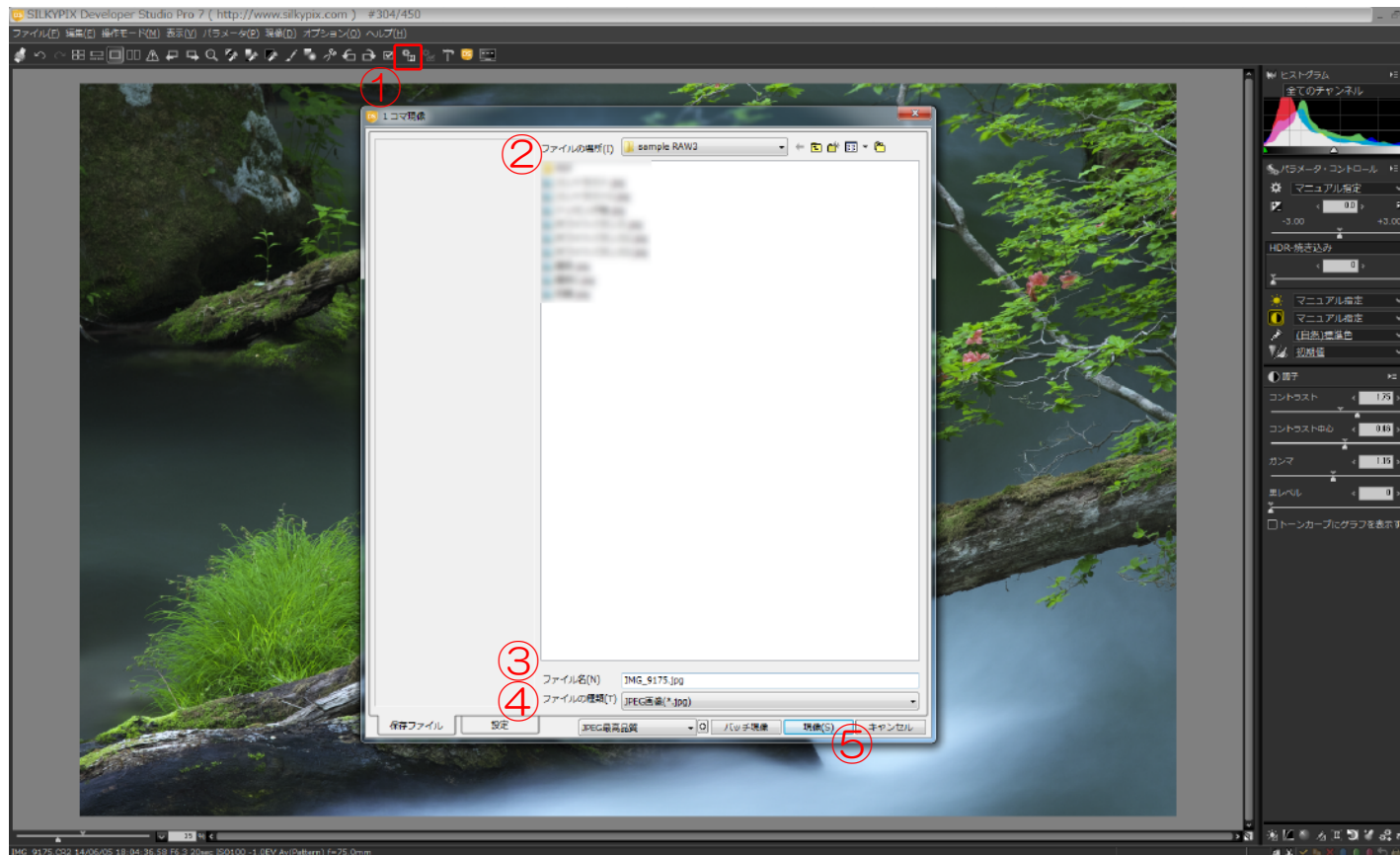
コントラストとは、明るい部分と、暗い部分の対比という意味を持ちます。  
コントラストを強くすると、明るい部分がより明るくなり、暗い部分はより暗く表現されることになり、硬調になります。  
逆にコントラストを弱くすると、明るい部分と、暗い部分の差が小さくなり、軟調になります。

# RAW 現像基本調整

サンプル RAW データをダウンロードして実際に体験できます。

## 8. 現像する

JPEG や TIFF に書き出す



① 1 コマ現像ボタンを押すと保存のダイアログが表示されます。

ファイルの場所(I) デスクトップ

② ファイルの保存場所を選択します。

ファイル名(N) 002.jpg

③ ファイル名を変更する場合は入力します。

ファイルの種類(T) JPEG画像(\*.jpg)  
JPEG画像(\*.jpg)  
TIFF画像(\*.tif)

④ ファイル形式で JPEG か TIFF を選択します。

現像(S)

⑤ 現像ボタンを押すと RAW データから JPEG または TIFF の変換が始まります。



### 現像とは？

SILKYPiX では RAW データから JPEG や TIFF に変換する事を「現像」と呼んでいます。TIFF は 8bit または 16bit が選択できます。

## RAW 現像基本調整

サンプル RAW データをダウンロードして実際に体験できます。

### 9. 調整前／調整後

トリミングにより画がすっきりまとまり、ホワイトバランスの調整で全体的な黄色っぽさが無くなった。さらにコントラストの調整で見せたい新緑の部分を強く表現する事ができた。



今回の調整項目を参考に、皆さんの感性でいろいろと調整してみてください。